

平成30年5月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年5月分について、輸出は「医薬品」、「半導体等電子部品」などが減少したもの、「自動車の部分品」、「自動車用等の電気機器」、「航空機類」などが増加したことから対前年同月比17.1%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」、「音響・映像機器（含部品）」などが減少したものの、「原動機」、「ポンプ及び遠心分離機」、「半導体等電子部品」などが増加したことから、同27.9%の増加となった。

その結果、差引額は102億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	799億円	+17.1%	901億円	+27.9%	▲102億円	+375.6%
	13カ月連続の増加		11カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	66億円	+108.1%	輸入	増加品目	(1) 原動機	109億円	+74.4%	
		(2) 自動車用等の電気機器	29億円	+148.0%			(2) ポンプ及び遠心分離機	31億円	+391.5%	
		(3) 航空機類	25億円	+180.8%			(3) 半導体等電子部品	77億円	+46.1%	
	減少品目	(1) 医薬品	5億円	▲75.6%		減少品目	(1) 有機化合物	8億円	▲72.3%	
		(2) 半導体等電子部品	58億円	▲16.2%			(2) 音響・映像機器（含部品）	14億円	▲27.2%	
		(3) プラスチック	13億円	▲9.9%			(3) 自動車の部分品	11億円	▲25.9%	
	主要地域 増減	アメリカ、EU、アジアが増加				主要地域 増減	アメリカ、アジア、EUが増加			

（参考）ドルレートは、109.08円（前年同月比2.1%、2.39円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。